



平成30年 新年のご挨拶

いのうえ けんじ
毛呂山町長 井上 健次

平成30年、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、ご家族おそろいで新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

東日本震災から7年という歳月を迎えようとしておりますが、その復興もままならぬうちに昨年7月5日、福岡県と大分県など九州北部を中心に集中豪雨が発生し、大規模な土砂災害によって甚大な被害が発生してしまいました。

この土砂災害によって尊い命を落とされた皆様に衷心よりご冥福をお祈り申し上げ、今なお仮設住宅などでの生活を余儀なくされている皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

この「九州北部豪雨」では、崩れた山林の木々が土砂と一緒に流れ出し、河川の橋梁などに堆積し、ダムのように川を堰き止めてしまいました。

予期せぬ流木によるダムが河川の堤防の決壊を引き起こし、被害を拡大させた結果となりました。まさに「想定外」と言え

る災害の発生であり、山林を有する地方の市町村では新たな「複合災害」と考えさせられたところです。

毛呂山町でも、10月の台風21号では町内各所で大雨による水害が発生しました。危険箇所では水防団、消防署、役場職員が夜を徹して対処し、被害を最小限に抑えることができました。

今後におきましても、いかなる災害に対しても、「自助・共助・公助」を基本に、防災組織のさらなる強化を柱に尽力して参る所存ですので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、平成29年を振り返りますと、昨年のオリンピック・パラリンピックイヤーの盛り上がり之余韻も冷めやらぬ7月、ハンガリーのブダペストで開催された「世界水泳選手権大会」では、毛呂山町出身 瀬戸大也選手が男子200mバタフライと400m個人メドレーの2種目で見事銅メダルを獲得しました。世界水泳選手権大会では、大会連続のメダル獲得となり、

町ではその栄誉を称え4度目となる「毛呂山町特別栄誉賞」を授与いたしました。

◎子ども達の活躍が光る！

「スポーツ健康都市」の宣言をしている本町は、子ども達の活躍も素晴らしい年となりました。

- ・毛呂山ウィングス（女子ソフトボール）埼玉県大会小学生女子の部において埼玉県代表となり第9回ミスノカップ東日本小学生女子ソフトボール大会および第34回関東小学生男・女ソフトボール大会に出場。
- ・毛呂山オリオンズ（少年野球）第43回埼玉県西部地区少年野球夏季大会ジュニアの部において優勝。
- ・毛呂山武州リトルシニア（硬式野球）所沢市長杯において優勝。

・毛呂山中学校女子卓球部

新人兼県民総合体育大会の中学生女子団体の部において優勝。平成30年3月開催の関東中学選抜大会および全国中学選抜大会に出場が決定。

・川角中学校女子Aチーム

第60回奥武蔵中学校駅伝競走大会において優勝。

また、プロスポーツにおいて、キックボクシングでは、毛呂山町出身の石原将伍選手が日本フェザー級のチャンピオンとなり、日本プロスポーツ協会による新人賞を獲得されました。

◎産・学・官の取り組みで結果を出す！

空き家率が高い毛呂山町は、国が進める「立地適正化計画」を真っ先に手掛けて、全国では5番目、埼玉県では1番目に立地適正化計画を公表することができました。

本町は、東洋大学理工学部建築科およびアイデア設計とも連携協定を結んでおり、今年度、第一団地内において「空家を活かしたまちづくり」など、産・学・官による取り組みが進められております。

特産品の「桂木ゆず」においても、包括連携協定を結ぶ女子栄養大学の協力を得て「桂木ゆず」を使った和洋折衷菓子を開

発していただき、和洋菓子を製造・販売する「かにや」の商品化によって「桂木の真珠」という産・学・官の取り組みから新しいお菓子が誕生しました。

また、「桂木ゆず」のブランド化を推し進めるため、議会のご理解をいただき、滝ノ入地内に「桂木ゆずの搾汁棟」を建築することができ、今後の「ゆず加工」に活路を見い出すことができました。

このように、自然が豊富な毛呂山町には、「まちおこし」となるヒントがまだまだたくさんあり、これからの厳しい町政運営ではそのヒントとなる素材を最大限に活かしながら、絶えず全国に発信していける「毛呂山町」にしていく所存です。

平成30年におきましても職員と一丸となり、さらに尽力して参る所存です。町民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくお願いたします。

平成29年

主な出来事と新規事業

- 1月 町と東洋大学が連携し「空家を活かしたまちづくり提案展」を開催
- 2月 「毛呂山町立地適正化計画」を公表（県内で初めて）
- 3月 越辺川の「川のみるごと再生プロジェクト」が完成
- 4月 町立小・中学校で「新3学期制」を開始
- 5月 「定住促進空き家改修事業補助金制度」を開始
- 6月 「親と一緒に子育て応援事業補助金制度」を開始
- 7月 「防災無線のフォローメールサービス（登録制）」の開始
- 8月 「防災無線のフォロー電話サービス」の開始
- 9月 「もろ丸くんまなびアップ教室」を開始
- 10月 町と東洋大学が「相互協力および連携に関する協定」を締結
- 11月 「世界水泳選手権大会2017ブダペスト」に瀬戸大也選手が出場し400m個人メドレー、200mバタフライの2種目で銅メダルを獲得
- 12月 「埼玉県女性消防操法大会」に毛呂山町女性消防隊が出場し敢闘賞を受賞
- 1月 妊娠・出産・子育てに関する総合相談窓口「子育て世代包括支援センター」を開設
- 2月 競泳・瀬戸大也選手に4度目の「毛呂山町特別栄誉賞」を授与
- 3月 「もろやま健康いきがいくくり事業」のくらしワンストップMORO HAPPINESS館がオープン
- 4月 「もろバス」のダイヤ改正により第1、第3土曜日に運行を開始
- 5月 「毛呂山町赤い糸見つけ隊」を結成
- 6月 特産品「桂木ゆず」を使用した、和洋折衷菓子「桂木の真珠」が誕生
- 7月 宮崎県木城町との「友情都市盟約締結10周年記念式典」の開催
- 8月 「川角中学校体育館大規模改造工事」が完了
- 9月 滝ノ入地内に「桂木ゆずの搾汁棟」が完成

